

事業所名	従業員規模	所在地	支援テーマ	支援回数
株式会社エヌエスファーム	常時雇用 7名 臨時雇用 4名	茨城県稲敷市	経営統合と法人化	専門家派遣回数 2回

相談内容・現状課題

■相談内容

周囲で離農する農家が増え、地域の農地を維持するため、若手農業者の二人(S氏・N氏)が受け皿となり、地域農業を守っていくという想いから、しっかりした経営基盤を構築し、周辺から信頼される会社を作り上げるため、経営を統合した上での法人化を目指したい。

このため、①経営の統合・法人化、②規模拡大に伴う労働力の確保と労務管理、③法人化後の設備投資に向けた計画の策定について支援いただきたい。

■現状課題等

- ・経営統合と法人化の手続きの習得とともに、法人化に向けた個人資産の整理(法人への資産の貸借・引継ぎ)が必要。
- ・規模拡大に伴う労働力確保と雇用契約書の作成等労務管理が未整備。
- ・施設(倉庫)投資に向けた資金計画ができていない。

相談所の支援体勢・伴走支援チームからの改善提案(問題解決方法)

■支援内容

中小企業診断士、社会保険労務士、普及指導員の計3名で支援チームを編成し、以下の支援を実施。

1. 中小企業診断士による経営支援
 - ・経営の現状分析と経営課題の認識の共有化
 - ・経営統合後の両氏の役割分担の確認
 - ・事業計画(5ヵ年)の作成支援
 - ・設備投資計画・資金計画作成支援
 2. 社会保険労務士による人材確保及び労務管理全般に係る支援
 - ・求人の方と雇用契約書の作成支援
 - ・労務管理について、能力に見合った賃金の設定と長時間労働に配慮
 - ・社会保険及び労働保険について、概要と加入手続き等
- ※税務関係は顧問税理士で対応



専門家による支援の様子

支援の成果・その後の状況

■支援の成果・その後の状況

経営の統合・法人化を進めていく中で両者の経営の現状と経営上の課題が「見える化」で明確となり、統合後の役割分担についても両氏の意向を確認し共有できた。

令和2年4月1日には株式会社として法人を設立し、「担い手として地域を背負っていく」という想いをさらに強く持ったところである。



会社のロゴ



経営する農地

■コーディネーター所感

相談者である両氏は40歳前後で年齢も若い。地域を背負っていくという強い想いから経営の統合と法人化を希望しており、効率的な支援を行うことができた。

令和2年4月に法人化したが、並行して経営計画の策定にも取り組み実践しており、地域に信頼される会社として今後の発展が期待される。